

鹿児島県がん対策推進計画の評価について

1 鹿児島県がん対策推進計画の概要

(1) 理念

「すべての県民が、がんを正しく理解し、がんの克服を目指す。」

(2) 全体目標

- ・ 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実
- ・ 患者本位のがん医療の実現
- ・ 尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

2 計画の評価について

(1) 評価の趣旨

- ・ がん対策推進計画は、検討を加え、必要に応じて計画を変更するものとされている。(がん対策基本法第12条)
- ・ 現行のがん対策推進計画は、令和5年度が終期となることから、今回、現行計画の評価を行い、次期計画に向けた取組の方向性を検討する。

(2) 評価方法

各項目において、施策の取組状況や数値目標の進捗状況から、次の5段階評価を行う。

(評価区分)

A	目標値に達した
B	目標値に達していないが、改善傾向にある
C	進捗なし(策定時から現状が5%の増減以内の変化)
D	悪化している
E	評価不可

3 全体目標の評価

目標項目		評価指標	現状	達成状況
1	科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実	・12年間で、全がんの年齢調整死亡率(75歳未満)の20%減少 計画策定時(H27) 目標(R11) 全体 79.4 → 63.5 男性 100.7 → 80.6 女性 59.6 → 47.7	(R3年) 全体 68.8 男性 86.2 女性 52.1	B
		・個別数値目標「1. 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実」の達成	個別目標40項目のうち ・目標達成：4項目(10%) ・改善：16項目(40%)	B
2	患者本位のがん医療の実現	・個別数値目標「2. 患者本位のがん医療の実現」の達成	個別目標12項目のうち ・目標達成：11項目(92%)	B
3	尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築	・個別数値目標「3. 尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築」の達成	個別目標11項目のうち ・目標達成：7項目(64%)	B

【個別目標<40項目>】の進捗状況について

評価	評価項目数	割合	
			(評価不可を除く)
A(達成)	23	34.3%	35.4%
B(改善)	16	23.9%	24.6%
C(進捗なし)	14	20.9%	21.5%
D(悪化)	12	17.9%	18.5%
E(評価不可)	2	3.0%	—
合計	67	100.0%	100.0%

※ がんの種別ごとに評価している項目もあるため、個別目標の項目数とは一致しない

<評価結果概要>

- ・がんの年齢調整死亡率(75歳未満)は全体及び男女とも計画策定時より改善しているが、目標値には達していない。令和11年までに目標値を達成するためには、引き続きがん対策を推進していく必要がある。
- ・目標達成状況については、全体のうち、目標達成又は改善した項目は60%、変わらなかった項目は21.5%、悪化した項目は18.5%であった。(評価不可を除く。)
- ・分野別にみると、がん予防・がん検診の充実に悪化した項目が多く、がん予防やがん検診受診の重要性についての更なる普及啓発が必要である。また、地域医療連携クリティカルパスの発行件数が減少傾向にあり、質の高い医療を切れ目なく提供するため、地域連携の方策の検討が必要である。

1 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実

【主な取組内容】

- 受動喫煙防止を推進するため、禁煙に取り組む飲食店等を「たばこの煙のないお店」として登録し、HPなどにより情報提供
 - 登録店舗 823店舗（R5.8.31現在）
- 死亡率・罹患率とも高い肺がん等について県民に対し予防講演会等を開催
 - R3：肺がん予防講座，R4：大腸がん予防講座
- A T Lの原因となるH T L V－1対策の普及啓発や保健所における無料抗体検査の実施
 - リーフレットの配布や講演会等の開催
保健所検査：（R1）40件，（R2）15件，（R3）19件，（R4）15件
- 肝炎ウイルス無料検査の実施及びポスターの作成・配布等による普及啓発
 - 検査実施数：（R3）B型 578人，C型 582人，（R4）B型 701人，C型 701人
- 県内の高校1年生を対象にピロリ菌検査事業を実施し，がん理解促進及び検診受診啓発
 - 検査実施実績（H29～R3）：71,154人，陽性率3.5%
- 子宮頸がんに関する情報を掲載したリーフレット及びグッズによる普及啓発
 - リーフレット及びグッズ（12,000セット）の配布による市町村成人式等での普及啓発

- がん征圧月間（9月）に電波媒体等を活用した集中的な普及啓発を実施
 - R4：テレビCM，ラジオCM，Web広告
R5：ラジオCM，YouTube広告，大型ビジョン広告 等
- ピンクリボン月間（10月）における集中的な普及啓発
 - ポスター，自己検診カードの作成・配布，鶴丸城跡及びアミュランのライトアップ，ピンクリボンツリー設置（県庁1階及び18階）及び設置セレモニー，街頭キャンペーン（自己検診カードの配布）
- 市町村によるがん検診を受けやすい環境の整備
 - 夕方・土日検診の実施（R4：夕方 16市町村，土日 41市町村）
- 職場の健康づくり賛同事業所におけるがん検診受診促進の取組，県がん対策推進連携協定締結企業による検診受診の啓発
 - 職場の健康づくり賛同事業の登録：345事業所（R5.8.31現在）
県がん対策推進連携協定：15企業と協定締結（R5.9.30現在）
- 本県独自のがんに関連する普及啓発資材を作成し，小中学校，高等学校等におけるがん教育の副教材及び中高年層への普及啓発資料として活用（R4～）
 - 小学生用（1～4年生・5,6年生），中学生用，高校生・一般用を作成し，児童・生徒及び市町村，事業所等へ配布（R4）
- がん検診機関等の検診技術及び精度向上
 - がん検診均てん化研修会の開催（5大がん及び市町村向け）

【達成・改善状況】

＜達成または改善項目割合＞ 50%

項目数	達成 (A)	改善 (B)	進捗なし (C)	悪化 (D)	評価不可 (E)
40	4	16	11	9	0

【評価結果概要】

- がん予防に関わる生活習慣（食生活，喫煙，飲酒，運動習慣）に関連する項目については，約5割が改善しているが，運動習慣がある（1日30分以上の運動を週2回以上，1年以上継続している）者の割合は男女とも低下
- 肝炎ウイルス検査の受診者数は目標値に達していないが，改善傾向
- がん検診受診率については，大腸がんは改善傾向にあるものの，その他は横ばい傾向で，いずれも目標値には達していない。
- 市町村検診における精密検査受診率は，大腸がん以外は目標値を達成，大腸がんについては横ばい傾向

【次期計画に向けた課題等】

- 健康かごしま21に基づいた生活習慣の改善等に向けた取組の推進及びウイルスに起因するがん予防対策の推進が必要
- がん検診の意義や必要性の普及啓発，市町村による検診案内・申込み・受診勧奨の工夫など，継続した取組が必要

【個別目標評価一覧】

1 がんの1次予防（12項目）

目標項目	策定時状況	目標値 (目標年度)	現状	達成状況	
1日あたりの平均食塩摂取量（成人）	10.2g (H28)	8g未満 (R4)	10.2g (R4)	C	
1日あたりの平均野菜摂取量（成人）	265g (H28)	350g以上 (R4)	271.4g (R4)	C	
1日あたりの果物摂取量100g未満の者の割合（成人）	64.0% (H29)	30%以下 (R4)	34% (R4)	B	
1日30分以上の運動を週2回以上、 1年以上継続している者の割合	男性(20～64歳)	31.0% (H29)	27%以上 (R4)	17.3% (R4)	D
	女性(")	22.6% (H29)	23%以上 (R4)	9.5% (R4)	D
	男性(65歳以上)	48.6% (H29)	39%以上 (R4)	33.1% (R4)	D
	女性(")	48.5% (H29)	37%以上 (R4)	23.6% (R4)	D
睡眠による休養を十分にとれていない者の割合	16.3% (H29)	15%以下 (R4)	17.5% (R4)	D	
1日あたりの純アルコール摂取量が男性40g以上、 女性20g以上の者の割合	男性	14.5% (H29)	12%以下 (R4)	13.3% (R4)	B
	女性	3.8% (H29)	5%以下 (R4)	7.4% (R4)	D
未成年で飲酒をしている者の割合	高3男子	1.2% (H29)	0% (R4)	0.8% (R4)	B
	高3女子	0.7% (H29)	0% (R4)	0.2% (R4)	B
成人の喫煙者の割合	成人男性	22.6% (H29)	12%以下 (R4)	23.3% (R4)	C
	成人女性	3.0% (H29)	12%以下 (R4)	4% (R4)	D
未成年で喫煙している者の割合	中1男子	2.1% (H29)	0% (R4)	1% (R4)	B
	中1女子	0.6% (H29)	0% (R4)	0.8% (R4)	D
	高3男子	4.2% (H29)	0% (R4)	1.5% (R4)	B
	高3女子	2.5% (H29)	0% (R4)	0.4% (R4)	B
妊娠中に喫煙している者の割合	3.0% (H26)	0% (R4)	1.8% (R3)	B	
受動喫煙の機会を有する者の割合	行政機関	11.0% (H29)	0% (R4)	9.1% (R4)	B
	医療機関	9.2% (H29)	0% (R4)	9.5% (R4)	C
	職場	35.0% (H29)	0% (R4)	29.1% (R4)	B
	家庭	7.9% (H29)	3% (R4)	7.8% (R4)	C
	飲食店	44.3% (H29)	15% (R4)	20.2% (R4)	B
肝炎ウイルス検査受診者数	B型	370,104人 (H27)	48万人以上 (R5)	470,436人 (R3)	B
	C型	309,188人 (H27)	42万人以上 (R5)	410,427人 (R3)	B

2 がんの早期発見及びがん検診（2次予防）（3項目）

目標項目	策定時状況	目標値 (目標年度)	現状	達成状況	
がん検診受診率 (対象：40～69歳，子宮がんのみ 20～69歳) ※胃・大腸・肺は過去1年，乳・子宮は過去2年	胃	42.2% (H28)	50%以上 (R5)	40.6% (R4)	C
	大腸	41.2% (H28)	50%以上 (R5)	44.0% (R4)	B
	肺	54.0% (H28)	53.9%以上 (R5)	51.4% (R4)	C
	乳	49.6% (H28)	50%以上 (R5)	49.8% (R4)	C
	子宮	46.6% (H28)	50%以上 (R5)	47.5% (R4)	C
(罹患者数が急増する)40歳代・50歳代の 乳がん検診受診率 ※過去2年	40代	51.7% (H28)	60%以上 (R5)	55.9% (R4)	B
	50代	51.8% (H28)	60%以上 (R5)	48.6% (R4)	D
(罹患者数が急増する)20歳代・30歳代の 子宮がん検診受診率 ※過去2年	20代	25.9% (H28)	50%以上 (R5)	30.0% (R4)	B
	30代	52.5% (H28)	60%以上 (R5)	54.5% (R4)	C

3 精度管理（1項目）

目標項目	策定時状況	目標値 (目標年度)	現状	達成状況	
市町村検診における精密検査受診率	胃	92.7% (H27)	90%以上 (R5)	93.0% (R2)	A
	大腸	81.5% (H27)	90%以上 (R5)	83.5% (R2)	C
	肺	93.3% (H27)	90%以上 (R5)	94.1% (R2)	A
	乳	95.8% (H27)	90%以上 (R5)	95.1% (R2)	A
	子宮	91.3% (H27)	90%以上 (R5)	92.1% (R2)	A

2 患者本位のがん医療の実現

【主な取組内容】

- がん診療連携拠点病院等の整備
 - R5.4.1付けで新たに霧島市立医師会医療センターが地域がん診療病院に指定
がん診療連携拠点病院等（国指定）：13医療機関（R5.4.1現在）
県がん診療指定病院：14医療機関（R5.4.1現在）
- がん診療連携拠点病院等の体制整備に要する経費の支援 → 7医療機関へ補助（R5）
- 金融機関から粒子線の治療費を借り受けた者に対し、利子の一部を助成
 - H30：4名（1名新規，3名継続），R1～3：4名（継続），R4：1名（継続）
- 40歳未満のがん患者が安心して在宅療養できるよう居宅サービスや福祉用具の購入・貸与等に係る利用料の一部を助成 → 38市町村が事業実施（R5）
- 将来子どもを産み育てることを望む小児・AYA世代のがん患者等に対し、妊孕性温存療法及び温存後生殖補助医療に要する経費の一部を助成
 - 妊孕性温存療法（R3～4）30件助成，温存後生殖補助医療（R4）1件助成
- 小児のがん罹患者に対する医療費助成（小児慢性特定疾病医療費助成）
- 小児がん等の治療のために造血細胞移植を行った20歳未満の者へワクチン再接種費用の一部を助成 → 32市町村が事業実施（R5）
- 地域の医科・歯科・介護関係者など多職種による継続的な口腔ケアの体制整備に取り組む医療機関を支援 → R1：3医療機関，R3：1医療機関
- がん登録情報の集計・分析及び報告書作成，がん登録に係る遡り調査等の実施

【達成・改善状況】

＜達成または改善項目割合＞ 92%

項目数 （評価可能項目数）	達成 （A）	改善 （B）	進捗なし （C）	悪化 （D）	評価不可 （E）
13 (12)	11	0	0	1	1

【評価結果概要】

- 拠点病院等におけるチーム医療やがんのリハビリテーションの実施等は目標値を達成
- 本人又は家族が納得いく治療を選択することができたと回答した割合は目標値を達成
- がん登録については，院内がん登録参加医療機関数は目標値を達成し，全国がん登録の開始により登録精度も改善しているが，医療機関の職員への周知度は低下

【次期計画に向けた課題等】

- 引き続き，医療従事者間や多職種での連携を推進するとともに，拠点病院等と地域の医療機関との連携体制の整備，治療による生殖機能への影響等の説明及び妊孕性温存療法等への支援が必要
- 引き続き，がん登録の精度向上に努めるとともに，がん登録の周知が必要

【個別目標評価一覧】

1 がんゲノム医療、希少がん、難治性がん対策〈1項目〉

目標項目	策定時状況	目標値 (目標年度)	現状	達成状況
がんゲノム医療連携病院数	— (H29)	1 医療機関以上 (R5)	がんゲノム医療拠点病院： 1 医療機関 (R4) がんゲノム医療連携病院： 2 医療機関 (R4)	A

2 がんの手術療法、放射線療法、薬物療法、免疫療法、支持療法の充実〈1項目〉

目標項目	策定時状況	目標値 (目標年度)	現状	達成状況
本人又は家族が納得いく治療を選択することができたと回答した割合	72.2% (H29)	72.2%以上 (R5)	77.6% (R5)	A

3 チーム医療の推進〈2項目〉

目標項目	策定時状況	目標値 (目標年度)	現状	達成状況
歯科口腔ケアの専門チームを整備し、適切な口腔ケアを提供している拠点病院数 (地域がん診療病院を除く)	7/10医療機関 (H28)	10/10医療機関 (R5)	6/6医療機関 (R4)	A
栄養の専門チームを整備し、適切な栄養管理を提供している拠点病院数 (地域がん診療病院を除く)	8/10医療機関 (H28)	10/10医療機関 (R5)	6/6医療機関 (R4)	A

4 がんのリハビリテーション〈2項目〉

目標項目	策定時状況	目標値 (目標年度)	現状	達成状況	
規定の研修を修了しているスタッフや専門の機能訓練室など、整備された状況でがんリハビリテーションを実施している拠点病院等の数	10/12医療機関 (H28)	12/12医療機関 (R5)	12/12医療機関 (R4)	A	
拠点病院等におけるリハビリテーションに係る専門医療従事者数	理学療法士	136人 (H28)	136人以上 (R5)	147人 (R4)	A
	作業療法士	70人 (H28)	70人以上 (R5)	75人 (R4)	A

5 小児がん、AYA世代のがん、高齢者のがん対策〈1項目〉

目標項目	策定時状況	目標値 (目標年度)	現状	達成状況
小児がん患者の長期フォローアップ外来を開設している拠点病院等の数	1/12医療機関 (H28)	3/12医療機関以上 (R5)	3/12医療機関 (R4)	A

6 がん登録〈3項目〉

目標項目	策定時状況	目標値 (目標年度)	現状	達成状況	
院内がん登録参加医療機関数	22医療機関 (H28)	25医療機関 (R5)	27医療機関 (R4)	A	
全国がん登録が医療機関の職員に周知されていると回答した割合	27.6% (H29)	100% (R5)	22.1% (R5)	D	
がん登録精度を示すDCN率/DCO率/IM比 (※1)	DCN	28.7% (H25)	20%以下 (R5)	— E (※2)	
	DCO	25.3% (H25)	10%以下 (R5)	3.1% (R1)	A
	IM比	2.21 (H25)	2.0以上 (R5)	2.57 (R1)	A

※1 DCN率：死亡情報で初めて把握された症例の割合
DCO率：死亡情報のみで登録された症例の割合
I/M比：死亡数と罹患数との比

※2 全国がん登録制度への移行により、2016（平成28）年からの精度指標においては、DCNではなくDCI（死亡情報のみの症例及び遡り調査でがんが確認された症例の割合）が用いられることとなっている。
なお、2019（令和元）年のDCI率は5.2%。（全国は3.1%（0に近い方が良い。））

3 尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

【主な取組内容】

- 各がん診療連携拠点病院等において、緩和ケア研修会を開催
→ 研修会修了者数 2,293名（R4年度末時点）
- がん患者及びその家族を対象としたがん相談・支援に係る講演会等の開催（年3回）
- がん患者サロンにおいてがん患者やその家族を支援するピアサポーター養成講座を開催
→ 養成講座：初級編2回（R4：15名受講），フォローアップ編1回（R4：16名受講）
- がんに関する療養情報や相談窓口，患者会等の周知
→ かがしま県がんサポートブックの作成（県がん診療連携協議会がん相談支援部門会）
- がん患者が治療に伴う脱毛のために使用する医療用ウィッグの購入費用の一部を助成
→ 35市町村が事業実施（R5）
- 患者の状況やニーズに応じ、入院から在宅への切れ目のない医療が提供される体制整備
→ 県内すべての二次医療圏域にて入退院支援ルール運用
- 人生の最終段階における医療と介護の連携体制の整備及び「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」の普及
→ 医療・介護関係者等を対象とした多職種参加型の研修会の開催，高齢者施設等向けパンフレット作成（R4）
- 治療と仕事の両立支援の推進
→ 鹿児島県地域両立支援推進チーム会議（鹿児島労働局）参加による連携

【達成・改善状況】

＜達成または改善項目割合＞ 64%

項目数	達成 (A)	改善 (B)	進捗なし (C)	悪化 (D)	評価不可 (E)
12 (11)	7	0	2	2	1

【評価結果概要】

- 拠点病院等における相談員基礎研修修了者数，患者サロンが定期的で開催される環境を整備している拠点病院等の数は目標値を達成
- 相談支援センターを知っている人の割合は僅かながら増加したが，年間相談件数は減少
- 5大がんの地域連携クリティカルパスの発行件数は減少傾向
- 拠点病院等における社会生活（仕事・就労・学業）に関する相談件数は増加
- 治療中に，治療と仕事を両立できるような配慮等を仕事上の関係者から受けたと回答した者の割合は目標値を達成

【次期計画に向けた課題等】

- 診断時からの緩和ケアの推進，がん相談窓口の更なる周知やがん患者サロンの充実が必要
- 治療と仕事の両立については継続した支援が必要，また，治療を続けながら社会生活を送るがん患者が増加する中で，アピアランスケアの推進が必要

【個別目標評価一覧】

1 がんと診断された時からの緩和ケアの推進〈1項目〉

目標項目	策定時状況	目標値 (目標年度)	現状	達成状況
拠点病院等における医師(がん等の診療に携わる医師・歯科医師)の緩和ケア研修修了割合	83.1%(H29)	100%(R5)	85.1%(R5)	C

2 相談支援、情報提供〈4項目〉

目標項目	策定時状況	目標値 (目標年度)	現状	達成状況																						
拠点病院等における相談員基礎研修修了者数 (がん対策情報センター相談支援センター相談員基礎研修全課程)	34人(H29)	46人(R5)	47人(R4)	A																						
相談支援センターの認知度	33.0%(H29)	50%(R5)	—	E(※3)																						
【参考】	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">H29年度調査</th> <th colspan="2">R5年度調査</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>構成比</th> <th>項目</th> <th>構成比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>役割・場所とも知っている</td> <td>33.0%</td> <td rowspan="4">知っている</td> <td rowspan="4">57.4%</td> </tr> <tr> <td>役割までは知らないが場所は知っている</td> <td>15.0%</td> </tr> <tr> <td>役割は知っているが場所は知らない</td> <td>8.5%</td> </tr> <tr> <td>役割・場所とも場所とも知らない</td> <td>40.5%</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>知らない</td> <td>37.3%</td> </tr> </tbody> </table>			H29年度調査		R5年度調査		項目	構成比	項目	構成比	役割・場所とも知っている	33.0%	知っている	57.4%	役割までは知らないが場所は知っている	15.0%	役割は知っているが場所は知らない	8.5%	役割・場所とも場所とも知らない	40.5%			知らない	37.3%	※3 質問項目 変更のため
H29年度調査		R5年度調査																								
項目	構成比	項目	構成比																							
役割・場所とも知っている	33.0%	知っている	57.4%																							
役割までは知らないが場所は知っている	15.0%																									
役割は知っているが場所は知らない	8.5%																									
役割・場所とも場所とも知らない	40.5%																									
		知らない	37.3%																							
拠点病院等及び指定病院の相談支援センターにおける年間相談件数	44,138件(H27)	57,000件(R5)	32,094件(R4)	D																						
患者会と協働した患者サロンが月1回以上の頻度で定期的に開催される環境を整備している拠点病院等の数	10/12医療機関(H29)	12/12医療機関(R5)	12/12医療機関(R4)	A																						

3 社会連携に基づくがん対策・がん患者支援〈2項目〉

目標項目	策定時状況	目標値 (目標年度)	現状	達成状況
拠点病院等における5大がんの地域連携クリティカルパスの発行件数	120件(H28)	240件(R5)	62件(R4)	D
訪問看護ステーション利用実人員(高齢者人口千対)	11.1人(H27)	11.7人(R2)	17.3人(R3)	A

4 患者会等の支援〈1項目〉

目標項目	策定時状況	目標値 (目標年度)	現状	達成状況
患者会の活動内容やその役割についての周知を図り、がん患者や家族等による啓発活動や生きがい、仲間づくり等の活動が発展・充実するように支援	実施(H29)	継続実施(R2)	実施(R4)	A

5 がん患者等の就労を含めた社会的な問題〈3項目〉

目標項目	策定時状況	目標値 (目標年度)	現状	達成状況
拠点病院等及び指定病院における「社会生活(仕事・就労・学業)」に関する相談件数	528件(H27)	680件(R5)	829件(R4)	A
県がん対策推進企業等連携協定を締結した企業数	10社(H29)	15社(R5)	15社(R5)	A
治療中に、治療と仕事を両立できるような配慮等を仕事上の関係者から受けたと回答した割合	56.5%(H29)	56.5%以上(R5)	69.1%(R5)	A

6 ライフステージに応じたがん対策〈1項目〉

目標項目	策定時状況	目標値 (目標年度)	現状	達成状況
訪問診療を実施している医療機関の割合	30.7%(H27)	35.7%(R2)	31.3%(R2)	C

4 これらを支える基盤の整備

【主な取組内容】

- 学校におけるがん教育の取組
 - モデル校における授業研修会，がん教育指導者（教職員・外部講師）研修会の開催，外部講師派遣事業の実施
- 本県独自のがんに関連する普及啓発資材を作成し，小中学校，高等学校等におけるがん教育の副教材及び中高年層への普及啓発資料として活用
 - 小学生用（1～4年生・5,6年生），中学生用，高校生・一般用を作成し，全児童・生徒及び市町村，事業所等へ配布

【達成・改善状況】

＜達成または改善項目割合＞ 50%

項目数	達成 (A)	改善 (B)	進捗なし (C)	悪化 (D)	評価不可 (E)
2	1	0	1	0	0

【評価結果概要】

- 鹿児島大学において九州がんプロ養成プラン講座を実施し，多様ながん対策に対応できる人材育成に取り組むことができた（修了者は目標値達成）
- 学校でのがん教育に医療従事者を派遣した拠点病院等の数は横ばい

【個別目標評価一覧】

1 人材育成（1項目）

目標項目	策定時状況	目標値 (目標年度)	現状	達成状況
九州がんプロ養成プラン（鹿児島大学）における6コース修了者数（事業実施：平成29年度～34年度）	— (H29)	102人 (R4)	134人 (R4)	A

2 がん教育，がんに関する知識の普及啓発（1項目）

目標項目	策定時状況	目標値 (目標年度)	現状	達成状況
学校でのがん教育に医師等の医療従事者を派遣した拠点病院等の数（地域がん診療病院を除く）	3/10医療機関 (H28)	10/10医療機関 (R5)	2/6医療機関 (R4)	C

【次期計画に向けた課題等】

- 子どもの頃からがんに関する正しい知識を得ることができるよう，継続して学校でのがん教育を推進するとともに，大人に対しても，がんに関する正しい理解の促進を図る必要がある。